

金澤北ロータリークラブ

1992年1月9日 第454号

例会日：木曜日 12:30～13:30
 例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭
 TEL<0762>52-2271 FAX52-2273
 事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所
 TEL<0762>22-2525 FAX24-2882
 会長：中村 三次 幹事：木村 丹二
 情報委員長：長谷川 壺人 会員86名

年 頭 の 挨拶

会 長 中 村 三 次



平成4年の幕が開けました。年頭に当り、会員皆様の御指導により、任期の半ばを過ごす事が出来ました事を感謝し、更に、残された任期を全うすべく決意を新たにしておりますが、当クラブは近く20周年を迎え、しかも、同時に地区大会のホストを担当する事になっております。これ等行事の準備の為、近々より、会員の皆様には何かと御尽力を願う事になりますので、何卒よろしくお願いします。

さて、年の初めは一つのふし目であり、一年の出来事を振り返って、新しい計画を練るのに

良い機会であります。ロータリー一年度は、年の半ばに始まりますが、一年の中、正月を一つのふし目と見る文化圏は日本に限らず、多くの国で見られ、多くの人々が、それぞれの立場で新年の決意をし、之が、人類の発展に大いに役立ってきたものであります。

皆様には、年の始めにあたり、さまざまな計画をお持ちでしょうが、私は、例年年頭に際し、いつも、大風呂敷を拡げた計画を立てています。私の能力より上廻る計画を立てる事により、概ね、私の能力の範囲内の計画が達成されるからです。そして、この大風呂敷は、私の心中秘かにしまっておくので、誰れにも迷惑をかける事がなく、大変便利です。

ところで、昨年は、国際的にも国内的にも激動の年でありました。そして、世界各国の文明に、ある種の共通性が芽生え、世界は国際紛争を戦争で解決することに決別する方向に進むようにみえます。

しかし、ヨーロッパ諸国では、早くからキリスト教という共通の文明を持ち乍ら、ローマ帝国以来、同じキリスト教圏内で、血で血を洗う攻防がくり返されて来た歴史に徹すると、各国は世界平和のため、更に一段と英知を結集すべきでしょう。

いうまでもなく、国際ロータリーは、文明を異にする会員の集まりであります。奉仕の理想のもとに結集し、単に存在するだけでなく、活動する団体です。そしてロータリーは、いつの時代にも、奉仕の理想のもと、時流に阿ることなく、悠久の大河の流れの如く、着実に、世界平和の実現に向かって、弛まざる努力を重ねており、大変貴重な存在価値があると思います。

『歴史の重さを知る』

桜井 健太郎

9月下旬より約2週間ヨーロッパ視察旅行へ行く機会を得た。視察と言っても殆ど観光であり、主にフランスが行き先である。特別な印象を記す表現力も感受性も持ち合わせていないがメモ的に述べたいと思う。

10年程前に訪れたことがあるが、歴史の深さ社会的蓄積の大きさには再認識させられる。誰れもが行くコンコルド広場では革命時流血の場であったが、当時と同じ風景であろうが平和な現在からは想像し難い。近くにオルセー美術館があるが以前は駅舎であったと知る。駅が美術館をになっても何ら不自然さを感じさせない古く貫録ある建造物なのである。街並みの建物全てが時代を感じさせ至る所に歩道にせり出した喫茶店がある。フランス革命以前から存在しているようで、身分・階級の厳しい当時に於て、自由に交流話し合えた唯一の場であったとのこと。真偽は別として、「フランス革命の発生地」との説明をガイドより聞く。

バスにて郊外のヴェルサイユ宮殿へ行く。ルイ14世が贅を尽した太陽神話を形象化した宮殿である。部屋毎の装飾・絵画・彫刻・庭園どれもすばらしい！

しかし民衆の反感を買う大きなきっかけとなり国王ルイ16世と王妃マリー・アントワネットは、コンコルド広場で命を失うこととなる。

緯度で見るとパリは樺太と同じに位置する。季節により日照時間が著しく異なり9月末で「サマータイム」が終った。経済は冴えなく三百万人程の失業者がいると言うが、旅行者には理解し難い。しかしよく目につくのは貸事務所の看板で、その現象の一部かなと思われる。外国人労働者も非常によく目につき、日本にとっても他人事とは言っておれなくなる日が近いかもしれない。

パリは遺跡の多い都市である。それらは当時一部特権階級の人達の物であり一般大衆の犠牲の上に乗られたものと云えよう。それにより血を流す革命を誘発はしたが、今日はその遺跡・文化が残っているが故に世界中から観光客が集まり賑わいがある。

パリはその背景を痛い程知るが故に頑なにその保存・管理に力を入れていると思えてならない。市内には車が溢れ一見不法駐車場の中にパリがある感がある。地下駐車場建設も遅々として進まない都市である。

多少の不便さは耐え忍んででも、先達の遺徳を護り伝えて行こうとするパリ市民の情熱が伝わって来るように私には思えた。

都市景観を保つ考え方が、相当以前より確立されていたということが理解できる。

文化に対するプライドであろうか。



コンコルド広場



ヴェルサイユ宮殿

年忘れ家族会

—1991.12.19—

親睦委員長 東川 昭

年末、恒例の年忘れ家族会も19日親睦友好例会各委員の協力により行われました。

5時から作家の先生方による作品展、又友好クラブ記念品（韓国）展示等、作品の中が一段と広がり、多数の会員家族の皆様にご覧いただき、又入札して戴きまして誠にありがとうございました。おかげさまで、ニコニコボックスに多くの金額が集まりました。皆様の御協力に感謝いたします。6時からの催しも手品、ウルトラクイズ、入札発表、ラッキープレゼント等楽しく盛況の内に終わりました。特に今年は、奥様方の参加が大変多く、より一層の盛り上がりがあった様に思います。おかげ様で盛大に年忘れ家族会が終了しましたことを心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



